

大阪府立弥生文化博物館 平成24年度秋季特別展

# 縄文の

# 世 界 像

■主催：大阪府立弥生文化博物館・朝日新聞社  
■後援：泉大津市・泉大津市教育委員会・和泉市・和泉市教育委員会  
■協賛：株式会社国際交流サービス

— 八ヶ岳山麓の恵み —

諏訪原遺跡 土偶裝飾付土器  
北杜市教育委員会蔵

【開館時間】

午前9時30分～午後5時  
(入館は午後4時30分まで)

【休館日】

毎週月曜日(ただし12月24日は開館)

【入館料】

一般600円、65歳以上・高大生400円

〔中学生以下、障がい者手帳をお持ちの方と  
その介助者1名様は無料／20名様以上の団体は2割引〕

11月10日(土)・11日(日)は「関西文化の日」のため無料

平成24年 **10/25**(木)  
~ **12/24**(月・祝)



大阪府立弥生文化博物館  
Museum of Yayoi Culture

〒594-0083 大阪府和泉市池上町4丁目8-27  
TEL.0725-46-2162  
<http://www.kanku-city.or.jp/yayoi/>

# 縄文の世界像

中ノ原遺跡 蛇体把手付土器  
尖石縄文考古館蔵

花上寺遺跡 把手付土器  
岡谷美術考古館蔵

平林遺跡 人面把手付土器  
北杜市教育委員会蔵

穴場遺跡 釣手土器  
諏訪市博物館蔵

日本列島に花開いた縄文文化は、世界的にもユニークな発達をとげました。その中でも中部高地、八ヶ岳山麓はほかに例をみない繁栄を誇ります。

この地には前期より環状集落が出現し、中期に最盛期を迎えます。華麗な装飾が施された土器・土偶は芸術といってよい完成度を誇り、縄文人の精神世界を考える手掛かりともなります。

また、この地は情熱的な研究者が活躍したフィールドでもあり、集落論、縄文農耕など先進的な学説が発信されました。展示ではこうした八ヶ岳山麓の縄文文化の魅力を多角的に紹介し、縄文の世界像に迫ります。

## ■考古学セミナー

- 第1回 11月3日(土) 水野 正好氏 奈良大学名誉教授  
「縄文文化の極致—八ヶ岳山麓の大遺跡群—」
- 第2回 11月10日(土) 田中 基氏 多摩美術大学芸術人類学研究所特別研究員  
「ReBORN—八ヶ岳山麓の土器図像と神話文脈—」
- 第3回 12月1日(土) 佐野 隆氏 北杜市教育委員会学術課 文化財担当リーダー  
「縄文農耕論と八ヶ岳山麓の縄文時代集落」
- 第4回 12月22日(土) 中沢 道彦氏 長野県考古学会員  
「縄文農耕論の今日的評価について」

□時 間:いずれも午後2時~4時  
□定 員:各回とも170名(当日先着順 開館時より整理券配付・午後1時30分から受付)  
□参加費:無料(要入館料)

## —八ヶ岳山麓の恵み—

### ■学芸員による展示解説

11月3日(土)、10日(土)、12月1日(土)、22日(土)

□時 間:午前11時~(約1時間)

### ■ワークショップ

10月27日(土)「ミニ土偶を作ろう!」

□時 間:午後1時~4時

□参加費:無料(要入館料)

\*小学校低学年以下は保護者の方がお付き添いください。

### ■関連企画「長野・山梨 史跡と考古の旅」

当館学芸員が同行し、長野・山梨県の遺跡・博物館を訪ねます。

10月31日(水)~11月2日(金)

□お問合せ:株式会社国際交流サービス

TEL.06-6263-7855

### ◆次回の予告◆

平成24年度冬季企画展  
「飾KAZARI—装刻金具の粋—」  
平成25年1月13日(日)~3月20日(水祝)



JR阪和線「備太山」駅下車西へ約600m  
南海本線「松ノ浜」駅下車東へ約1,500m

【大阪方面からお越しの場合】  
JR天王寺駅から和歌山方面行(阪和線)快速電車にご乗車になり、鳳(おおとり)駅で普通電車にお乗り換えください。  
大阪駅からお越しの場合は、「関空・紀州路快速」をご利用になると便利です。  
鳳から3駅目が備太山(しのだやま)駅です。



国道26号「池上町」交差点南西角  
P普通車72台(無料)



大阪府立弥生文化博物館

平成24年度秋季特別展

南九州とヤマト王権

平成24年 9/29(土) 12/2(日)

—日向・大隅の古墳—

大阪府立 近つ飛鳥博物館

OSAKA PREF. CHIKATSUASUKA MUSEUM  
〒585-0001 大阪府南河内郡河南町大字東山299番地  
TEL.0721-93-8321 FAX.0721-93-8325  
http://www.chikatsu-asuka.jp/